



# 経営評価

## 平成26年度事業

平成26年度事業の  
評価結果はどうなっ  
ているのかな？



上下水道局マスコット  
キャラクター  
すみと  
ホテルの澄都くん

京都市上下水道局 水道使用水量のお知らせ

お客さま  
番号  
999  
検針区  
下水区分  
区域内  
京都

使用者コード  
12345  
汚水区分  
水道のみ

水栓番号  
67890

戸数  
1

呼び径  
20mm

メーター番号  
100160

用途  
一般

支払方法  
口座振替

京都 一郎様

表示の金額には、消費税及び地方消費税相当額を含みます。

27年度 3期ご使用分 (6月2日~8月3日)

今回指示数 652 m<sup>3</sup>

前回指示数 620 m<sup>3</sup>

取替前メーター使用量 m<sup>3</sup>

井戸汚水等排出量 m<sup>3</sup>

今回ご使用水量 (月 日)

前年同期使用水量 34 m<sup>3</sup> 前期使用水量 32 m<sup>3</sup>

ご請求予定額 (内訳) 水道料金 4,389円 下水道使用料 7,365円

お客さまへ利用の口座振替をご利用

水道料金からの割引額 -44円 下水道使用料からの割引額 -44円

割引後のご請求額 7,277円

「割引後のご請求額」は、右記の請求日にお引き落としさせていただきます。いただいた場合に適用いたします。

次回検針予定日 10月1日 (天候等により変更する場合があります)

今回口座請求日 27年9月17日

「口座振替割引」をご存知ですか？  
上下水道料金のお支払いには便利でお得な「口座振替」をぜひご利用ください。またクレジットカードでもお支払いいただくことができます。

水道料金等口座振替済のお知らせ (前回検針分)

27年度 2期ご使用分 (4月2日 ~ 6月1日)

振替日 7月17日

水道使用水量 33 m<sup>3</sup> 汚水排出量 33 m<sup>3</sup>

水道料金 4,580円 下水道使用料 3,098円

口座割引額 -44円 口座割引額 -44円

水道料金 (口座割引額適用後) 4,536円 下水道使用料 (口座割引額適用後) 3,054円

振替金額 7,590円

検針のお問い合わせ先 (業務委託先) TEL 123-4567 FAX 890-1234

検針委託 〇〇〇〇

検針月日 27年8月3日 検針員 水道 太郎

京都市上下水道局  
http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/

※上下水道局職員を装った訪問業者にご注意ください※  
(裏面に〇〇〇〇〇〇〇〇からののお知らせがありますので、  
ご覧ください。)

料金は何に使われて  
いるのかしら？



上下水道局マスコット  
キャラクター  
ホテルのひかりちゃん

# 上下水道局 NEWS

上下水道局では、市民の皆さまに、安全・安心な水道・下水道サービスを提供しつづけるために、水道配水管の更新や雨水貯留幹線の整備など、さまざまな事業を進めています。

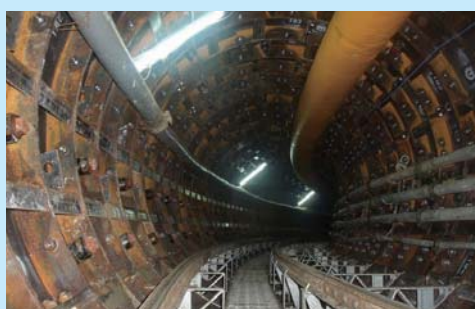


## 水道配水管の更新を スピードアップ!

水道配水管については、耐震性の高い「高機能ダクタイル鋳鉄管」への更新をスピードアップし、老朽化対策と耐震化をより一層進めています。引き続き、安定的な水道水の供給に向けて、アセットマネジメント等の考え方も取り入れて、効率的・効果的な更新事業を進めてまいります。



水道配水管更新工事



山科三条雨水幹線



## 雨水貯留幹線を整備し、 「雨に強いまちづくり」を推進!

浸水被害を防ぐために現在施工中の雨水貯留幹線（塩小路幹線、山科三条雨水幹線、新川6号幹線）の整備を着実に進めました。

また、本市の浸水対策事業の実効性を確保するため、関係局区が連携して具体的な事業の内容と年次計画を示した、京都市「雨に強いまちづくり」推進行動計画を策定しました。



## 山間地域の水道で給水開始! 下水道の整備完了!

京北地域の山国浄水場と細野浄水場及び大原地域の大原第1浄水場で整備工事が完了し、それぞれ給水を開始しました。

また、北部地域（大原、静原、鞍馬、高雄地区）の下水道については、全ての整備が完了し、供用を開始しました。



細野浄水場（細野地域水道）



南部営業所



## 経営の効率化・地域の防災機能 強化を目指した営業所の再編!

経営の効率化と地域の防災機能強化を目指して、営業所は9箇所から4箇所へ順次再編します。平成27年度に、北及び丸太町営業所を再編して北部営業所を、九条及び伏見営業所を再編して南部営業所を開設しました。新たに建設した南部営業所庁舎は、応急給水槽の設置や停電対策等の防災機能を強化しています。

## 目次

上下水道局NEWS	1	重点項目① 改築更新の推進	6
経営戦略と経営評価	2	重点項目② 災害対策の強化	7
経営指標評価	3	重点項目③ 環境対策の充実	8
決算概要	4	重点項目④ お客さま満足度の向上	9
取組項目評価	5	重点項目⑤ 経営基盤の強化	10

# 水道事業・公共下水道事業の経営戦略と経営評価

上下水道局では、平成20年度から平成29年度までに取り組むべき課題や目標を示す「京(みやこ)の水ビジョン」(2008-2017)とその具体的な実施計画である「中期経営プラン」に基づき、様々な事業を進めています。

経営評価は、上下水道局経営戦略のPDCAサイクルの一環として、毎年度その事業を振り返り、経営指標評価と取組項目評価の2つの方法で評価し、今後の事業運営などに活用しています。

## 経営指標評価

財務面を中心とした客観的な業務指標を用いて、収益性や生産性など6つの区分から水道事業、公共下水道事業の経営状況の評価・分析を行いました。  
3ページへ


## 取組項目評価

「中期経営プラン(2013-2017)」に掲げる5つの重点項目と重点項目を構成する取組項目について、進捗状況の点検・評価を行いました。  
5ページへ

## 上下水道局経営戦略

### 京(みやこ)の水ビジョン (2008-2017)

#### 基本理念



くらしのなかにはいつも水があります。  
私たち京都市上下水道局は、  
先人から受け継いだ、水道、下水道を守り、育むことにより、  
皆さまのくらしに安らぎと潤いをお届けしたいと考えています。  
そして、ひとまちくらしを支える京の水をあすへつなぎます。

「京(みやこ)の水ビジョン」(2008-2017)は平成20年度からの10年間に取り組むべき課題や目標を示した経営戦略です。ビジョンで掲げた基本理念の下、私たち上下水道局に課せられた社会的な役割や使命を果たしつつ、水道・下水道サービスの質的な向上を図っていくため、「安全・安心」、「環境・くらし」、「安定・維持向上」、「サービス」、「経営」といったキーワードを基本とする5つの施策目標を掲げ、その達成に向けて22の重点推進施策を設定しています。

### 中期経営 プラン (2013-2017)



「中期経営プラン(2013-2017)」は、ビジョンの後期5箇年の具体的な実施計画です。

プランは、5つの重点項目を中心に93の取組項目を推進する「事業推進計画」、業務の効率化を推進する「第5期効率化推進計画」及び「財政基盤強化計画」の3つの計画で構成されています。

平成26年度は、プランの2年目として着実に事業を進めることにより、老朽化した水道管の更新のスピードアップ、雨水整備の推進など計画どおり進めることができました。

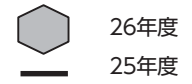


# 経営指標評価

財務指標を中心とした業務指標により、6つの評価区分を用いて経営状況の改善度や中長期的な経営分析を行っています。



25年度を100として改善度を示しています。



## 水道事業

### ① 収益性

103.1



25年10月検針分から実施した料金改定の年間を通じた適用(通年化)による水道料金収入の増加や、経営の効率化による支出削減により、経常収支は黒字となりました。

### ⑥ 費用

99.6



1m<sup>3</sup>の水道水をつくるコストは158.3円です。大都市<sup>\*</sup>平均と比べると、11.5円(6.8%)低コストです。

### ⑤ 料金

98.6



1m<sup>3</sup>当たりの水道水の平均価格は、166.3円です。+9.6%の料金改定の通年化により指標値が低下しましたが、大都市<sup>\*</sup>平均と比べると、2.6円(1.5%)低価格です。

### ④ 生産性

100.8



職員定数を削減し、経営の効率化を図りました。

### ② 資産・財務

104.4



給水収益の増加などにより、財務体質を強化しました。

### ③ 施設の効率性

99.1



水需要の減少が給水量に影響を与えています。

## 公共下水道事業

### ① 収益性

97.6



25年10月検針分から実施した下水道使用料改定の通年化等により下水道使用料収入が減少しましたが、5年連続の黒字決算となりました。

### ⑥ 費用

98.6



1m<sup>3</sup>の下水を処理するのにかかるコストは、120.9円です。大都市<sup>\*</sup>平均と比べると、40.4円(25.0%)低コストです。

### ⑤ 使用料

100.6



1m<sup>3</sup>当たりの下水道使用にかかる平均価格は122.0円です。△3.0%の下水道使用料改定の通年化により指標値が向上しました。大都市<sup>\*</sup>平均と比べると、19.4円(13.7%)低価格です。

### ④ 生産性

98.1



下水道使用料収入や処理水量が減少したものの、職員定数の削減により経営の効率化を図りました。

### ② 資産・財務

95.0



建設改良費等の財源に資金を充当し、企業債を発行を抑制したことにより、財務体質の強化に努めました。

### ③ 施設の効率性

99.7



水需要の減少が処理水量に影響を与えています。

※大都市比較は、東京都及び平成26年度における政令指定都市(水道事業では県が主に運営する千葉市、相模原市を除く計19都市、下水道事業では計21都市)で比較しました。

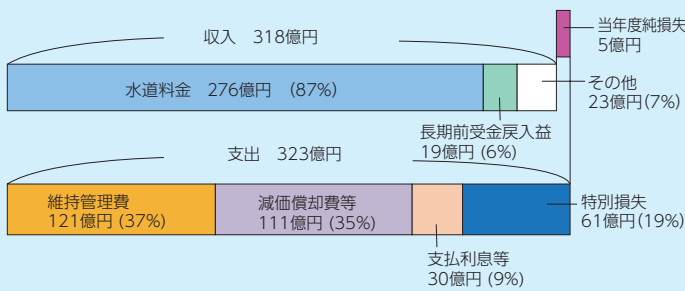
# 水道事業・公共下水道事業の決算概要(平成26年度)

## 水道事業

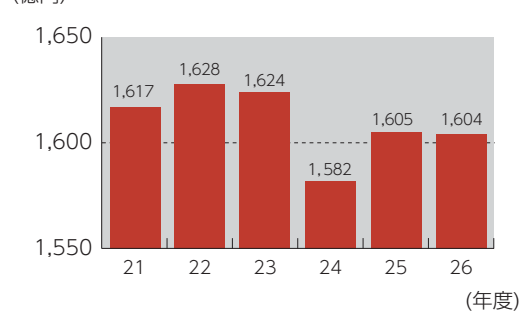
水道料金収入においては、平成25年10月検針分から実施した料金改定(+9.6パーセント)の年間を通した適用により、前年度と比べ2.1パーセント(5億8,000万円)増加するとともに、支出において、職員定数の削減や効率的な運営による費用の抑制に努めました。この結果、経常損益は55億1,600万円の黒字となりましたが、地方公営企業会計制度の見直しに伴い、退職給付引当金等の特別損益(△60億6,100万円)を計上したことにより、当年度純損益は5億4,500万円の赤字決算となりました。

なお、企業債の残高は、前年度と同程度の1,604億円となりました。

<損益計算書>



企業債残高の推移

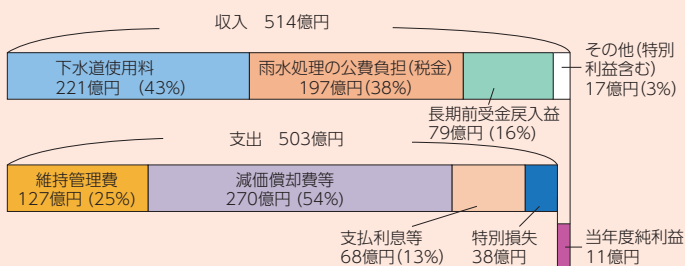


## 公共下水道事業

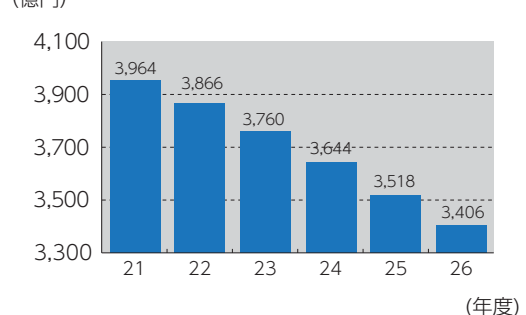
下水道使用料収入においては、平成25年10月検針分から実施した使用料改定(△3.0パーセント)の年間を通した適用により、前年度と比べ△3.5パーセント(△8億800万円)減少しましたが、支出において、職員定数の削減や企業債残高の削減により費用の抑制に努めました。この結果、経常損益は46億5,300万円の黒字となり、地方公営企業会計制度の見直しに伴い、退職給付引当金等の特別損益(△35億2,400万円)を計上したことにより、当年度純損益は11億2,900万円の黒字決算となりました。

なお、企業債の残高は、投資の抑制により発行を上回る償還を行ったため、前年度と比べ△3.2パーセント減少し、3,406億円となりました。

<損益計算書>



企業債残高の推移



水道事業及び公共下水道事業の財務情報、連結財務諸表等は、上下水道局ホームページに掲載しています。そちらも併せてご覧ください。

●京都市上下水道局トップページ⇒京都市上下水道局の紹介⇒経営情報⇒財務情報

# 取組項目評価

取組項目評価は、各取組における単年度の目標に対する達成度を5段階で評価しました。

ここでは、中期経営プランに掲げる重点項目に対する評価結果をご紹介します。

道路の下でくらしを支える管路施設の改築更新や雨に強く安心できる浸水対策の推進により、5つの重点項目のうち、4つがA評価、1つがB評価となりました。



評価方法は、

**A**

十分に達成  
されている

**B**

かなり達成  
されている

**C**

そこそこ達成  
されている

**D**

あまり達成  
されていない

**E**

達成されて  
いない

の5段階評価

重点項目別の評価は、取組項目ごとの評価結果を集約したものです。

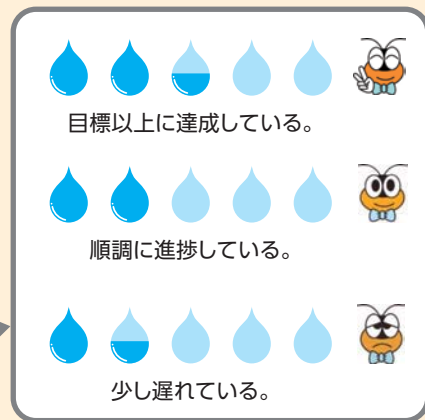
## <取組項目ごとの評価基準>

- a 十分に達成されている(目標値の100%以上達成)
- b かなり達成されている(目標値の80%~99%)
- c そこそこ達成されている(目標値の50%~79%)
- d あまり達成されていない(目標値の30%~49%)
- e 達成されていない(目標値の29%以下)

## <中期経営プランに対する進捗状況>



中期経営プランでの  
目標水準(平成29年  
度末)に対する平成  
26年度末の進捗状  
況を澄都(すみと)く  
んの表情としずくで  
示しています。



## 中期経営プラン(2013-2017)に掲げる5つの重点項目

- |       |            |        |
|-------|------------|--------|
| 重点項目① | 改築更新の推進    | 6 ページ  |
| 重点項目② | 災害対策の強化    | 7 ページ  |
| 重点項目③ | 環境対策の充実    | 8 ページ  |
| 重点項目④ | お客さま満足度の向上 | 9 ページ  |
| 重点項目⑤ | 経営基盤の強化    | 10 ページ |

# 重点項目① 改築更新の推進

26年度の  
単年度評価

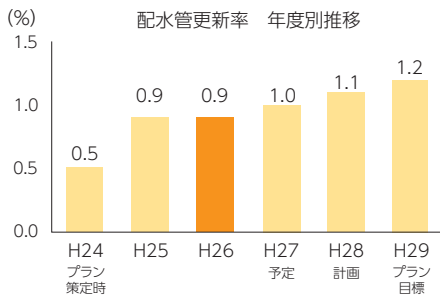
**A**

配水管更新率について目標を達成し、経年管老朽化対策工事や管路地震対策工事のほか、京北地域水道・大原地域水道の再整備についても計画どおり実施できたため、A評価となりました。

## ① 道路の下で暮らしを支える管路施設の改築更新

### 26年度の主な実績

- 水道配水管の更新の推進
  - ・配水管の更新率0.9% (目標0.9%)，配水管及び補助配水管の布設替工事の実施 **a**
- 下水道管路施設の計画的な点検・改築更新
  - ・下水道管路地震対策率70.7% (目標70.4%)，経年管老朽化対策工事の実施，管路地震対策工事の実施 など **a**



### 配水管更新率 (%)

$$= \frac{\text{更新された配水管延長}}{\text{配水管の総延長}} \times 100$$

プランでは平成29年度までに更新率を段階的に引き上げ、1.2%にすることし、平成30年度以降には1.5%以上を目指すこととしています。

## ② 基幹施設の機能維持・向上のための改築更新

### 26年度の主な実績

- 浄水施設等の改築更新
  - ・蹴上浄水場第1高区配水池改良工事の実施 など **b**
- 水環境保全センター及びポンプ場の改築更新
  - ・鳥羽水環境保全センター汚泥消化槽再整備工事の実施 など **a**

## ③ 水需要に応じた施設規模の適正化及び施設の再編成

### 26年度の主な実績

- 下水処理における鳥羽・吉祥院処理区の統合
  - ・幹線管路の切替施設の実施設設計を実施 **a**
- 浄水場排水の下水道での一体処理化
  - ・松ヶ崎浄水場下水放流設備改良工事及び新山科浄水場排水処理汚泥圧送管布設工事の完了 **a**

## ④ 京北地域水道・大原地域水道の再整備

### 26年度の主な実績

- 京北地域水道・大原地域水道の再整備
  - ・山国浄水場，細野浄水場及び大原第1浄水場における機械設備工事及び電気設備工事の完了，給水開始 など **a**



山国浄水場 (京北中部地域水道)

中期経営プラン (25～29年度)  
に対する進捗状況



目標以上に達成  
しています。

# 重点項目② 災害対策の強化

26年度の  
単年度評価

**B**

連絡幹線配水管の布設に係る工事等に一部遅れが生じているものの、おおむね計画どおり実施でき、配水管更新率や雨水整備率、下水道管路地震対策率について目標を達成することができたため、B評価となりました。

## 1 地震等に強い上下水道施設の整備

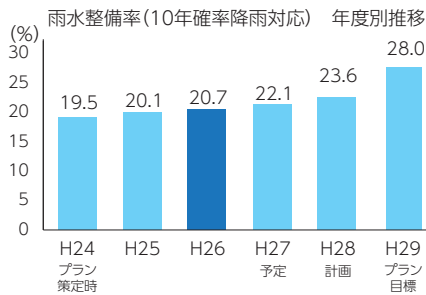
26年度の主な実績

- 上下水道管路・施設の耐震化の促進
  - ・水道管路の耐震化率11.4%(目標11.7%)、配水管及び補助配水管耐震化工事の実施、蹴上浄水場第1高区配水池改良工事の実施 など **b**
  - ・御陵・吉田・御池連絡幹線配水管布設工事の実施 **c**
  - ・下水道管路地震対策率70.7%(目標70.4%)、経年管老朽化対策工事の実施 など **a**
  - ・石田水環境保全センター水処理施設上屋耐震補強工事の完了、災害用マンホールトイレ工事の完了 など **a**
- 新山科浄水場第2導水トンネルの整備
  - ・新山科浄水場場内整備工事の実施 など **c**

## 2 雨に強く安心できる浸水対策の推進

26年度の主な実績

- 地下街等を有する地区等の浸水対策
  - ・雨水整備率(10年確率降雨対応) 20.7%(目標20.1%)、京都駅・山科駅周辺地区の地下街等における浸水対策(塩小路幹線工事及び山科三条雨水幹線工事の実施) **b**
  - ・阪急桂駅東側地域(新川流域)における浸水対策(新川6号幹線工事の実施) **a**
  - ・雨に強いまちづくり推進計画に基づき、合同地区別及びテーマ別の検討会等を実施 **a**
  - ・雨水貯留施設設置助成金制度 助成件数83件(目標120件)、雨水浸透ます設置助成金制度 助成件数6件15基(目標10件40基) **c**



雨水整備率(10年確率降雨(1時間62mm)対応) (%)

$$= \frac{\text{浸水対策済区域面積}}{\text{公共下水道事業計画区域面積}} \times 100$$

プランでは平成29年度までに雨水整備率(10年確率降雨対応)を28.0%にすることを目標としています。

## 3 災害・事故等危機時における迅速な対応

26年度の主な実績

- 危機管理対策の強化
  - ・災害対策本部運用訓練, 局内初動措置訓練を実施 など **a**
- 防災拠点の充実
  - ・応急給水資機材配付計画に基づき、仮設給水栓を区役所出張所等(計22箇所)への配備完了、応急給水訓練の継続実施(京都市総合防災訓練, 各区防災訓練で実施) など **a**

中期経営プラン(25~29年度)  
に対する進捗状況



順調に進捗  
しています。



# 重点項目③ 環境対策の充実

26年度の  
単年度評価

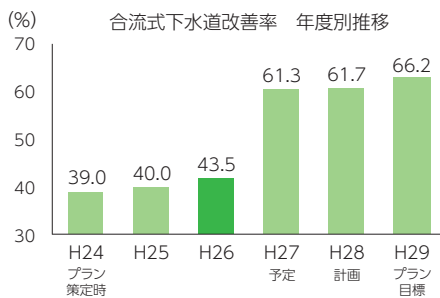
A

高度処理人口普及率や合流式下水道改善率について数値目標を達成するとともに、太陽光発電設備の設置や資源循環の推進など、計画どおり実施できたため、A評価となりました。

## 1 市内河川と下流域の水環境を守る下水の高度処理の推進

### 26年度の主な実績

- 下水の高度処理施設の段階的な整備
  - ・高度処理人口普及率51.0% (目標51.0%)、高度処理施設整備の実施 (鳥羽水環境保全センターB系反応タンク設備工事の実施) **a**
- 合流式下水道の改善
  - ・合流式下水道改善率43.5% (目標43.5%)、合流式下水道改善に係る工事の実施 (七条東幹線, 七条西幹線, 朱雀北幹線など) **b**
  - ・砂川雨水滞水池築造工事の実施, 雨天時水質検査の実施 など **a**



### 合流式下水道改善率 (%)

$$= \frac{\text{合流式下水道改善済面積}}{\text{合流式区域面積}} \times 100$$

プランでは平成29年度までに合流式下水道改善率を66.2%にすることを目標としています。

## 2 市民のくらしと水環境を守る下水道整備の拡大

### 26年度の主な実績

- 北部地域の污水整備の推進
  - ・北部地域特定環境保全公共下水道整備事業の完了 **a**

## 3 環境保全の取組の推進

### 26年度の主な実績

- 再生可能エネルギーの利用拡大等による温室効果ガスの削減
  - ・松ヶ崎浄水場の大規模太陽光発電設備発電開始 **a**
  - ・資器材・防災センター, 南部営業所, 山国浄水場の太陽光発電設備発電開始 **a**
- 資源循環の推進
  - ・消化ガスのボイラ燃料等への活用と脱水汚泥等のセメント原料化を推進 **a**

太陽光発電設備は、再生可能エネルギーである太陽エネルギーを利用した発電設備であり、発電時に温室効果ガスを排出しないため、低炭素・循環型まちづくりに貢献します!



松ヶ崎浄水場の大規模太陽光発電設備

中期経営プラン (25~29年度)  
に対する進捗状況



順調に進捗  
しています。

# 重点項目④ お客さま満足度の向上

26年度の  
単年度評価

A

平成25年度から新たに導入した口座振替利用者を対象とした割引制度、クレジットカード継続払い制度の周知を図るとともに、営業所の抜本的再編について南部営業所の開所に向けた準備等を計画どおり実施できたため、A評価となりました。

## 1 お客さま満足度の向上を目指した料金施策の推進

### 26年度の主な実績

- 今日の社会状況の変化に対応した料金制度・料金支払方法への見直し
  - ・専門部会を設置し、地下水利用の在り方を検討 など a
  - ・口座振替利用者を対象とした割引制度及びクレジットカード継続払い制度の周知 (市内イベントにおいて制度のPRパネルの展示, 市民しんぶんへの記事の掲載等) a
  - ・開栓時の「水道便利袋」お渡しサービスの実施 36,157件 など a

### 口座振替割引制度でお得に!

上下水道料金を口座振替でお支払いいただくお客さまには、口座振替割引が適用されています。2箇月で88円を割引いたします。

- ・割引額は、水道メーター検針の際にお渡しする「水道使用水量のお知らせ」でご案内しています。
- ・初回請求時に口座から引き落としができた場合に限りです。



### クレジットカード継続払いで便利に!

上下水道料金のお支払には、クレジットカード継続払い(あらかじめ登録いただいたクレジットカードにご請求させていただきお支払い方法)をご利用いただけます。

- ・お申し込みをしていただく必要があります。
- ・クレジットカード継続払いを御利用の場合、口座振替割引制度は適用されません。

ご利用可能ブランド  
VISA, Master, JCB  
DinersClub,  
AmericanExpress

## 2 積極的に行動するサービスの充実

### 26年度の主な実績

- 上下水道局営業所の抜本的再編
  - ・水道メーター点検時に営業所再編についてのリーフレットを配布 など a
- 出前トークや環境教育の充実
  - ・環境教育サイト「水道・下水道の子ども環境博士になろう!」を設置 など a

## 3 広報・広聴の充実と積極的な情報開示による事業の透明性の確保

### 26年度の主な実績

- 積極的な情報発信と分かりやすい情報開示等による広報機能の充実
  - ・公式フェイスブックの開設, 「おいしい!大好き!京(みやこ)の水キャンペーン」の実施, ミスト装置普及促進事業の実施 など a



京(みやこ)の水カフェ



市バスラッピング広告



京(みやこ)の駅ミスト

中期経営プラン(25~29年度)  
に対する進捗状況



目標以上に達成  
しています。

# 重点項目⑤ 経営基盤の強化

26年度の  
単年度評価

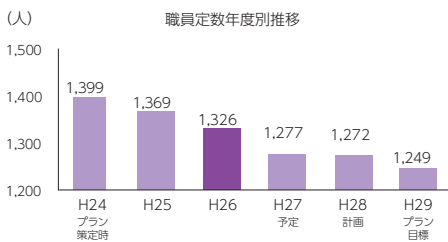
**A**

職員定数の削減や保有資産の有効活用など、経営基盤の強化に向けて、おおむね計画どおり実施できたため、A評価となりました。

## 1 経営環境の変化に対応した経営の効率化

26年度の主な実績

- 事業の効率化の推進
  - ・組織改正の実施、職員定数の削減(△43人) **a**
- 地域事業の水道・公共下水道事業への統合
  - ・統合に係る諸課題について、ワーキンググループの定例化による詳細スケジュールの作成及び進捗管理 など **c**



職員定数(人)

プランでは平成29年度までに水道、下水道に従事する職員定数(地域事業を含む)を1,249人にすることを目標としています。

## 2 持続可能な事業運営のための財務体質の強化

26年度の主な実績

- 企業債残高の削減
  - ・機会あるごとに、国に対する補償金免除繰上償還制度の拡充の要望(日本水道協会による国への要望など) など **a**
- 保有資産の有効活用
  - ・「水道使用水量のお知らせ」の裏面広告の継続実施及び広報紙「京の水だより」等に広告を掲載 など **a**

広告掲載



広報紙「京の水だより」(平成27年2月)

## 3 人材の育成や技術の継承・発展と国際貢献の推進

26年度の主な実績

- 人材活性化に向けた取組の強化
  - ・新入人材育成基本方針「企業力向上プラン」に掲げる26年度の項目の実践 など **a**
- 職員の意欲・やる気を引き出す取組の充実
  - ・職員提案件数139件(目標100件)、自主研修の支援(資料の閲覧) など **a**
- 職員の能力発揮のための職場環境の整備
  - ・産業医による職場巡視の実施、メンタルヘルスセルフケア研修・ラインケア研修の実施 など **a**
- 国際協力事業の推進と国際貢献を支える人材の育成
  - ・京都市が参画する「ビエンチャン特別市・京都市連携による低炭素歴史都市形成に資するJCM事業調査(環境省の海外技術支援FS事業)」の一環で実施する現地調査(第1回国際委員会)に参加 など **a**
- 知識・経験や技術・技能の継承
  - ・各職場におけるナレッジマネジメントの運用及びフォローアップ調査の実施 など **a**

中期経営プラン(25~29年度)  
に対する進捗状況



順調に進捗  
しています。



# 水道事業・公共下水道事業環境会計(平成26年度)

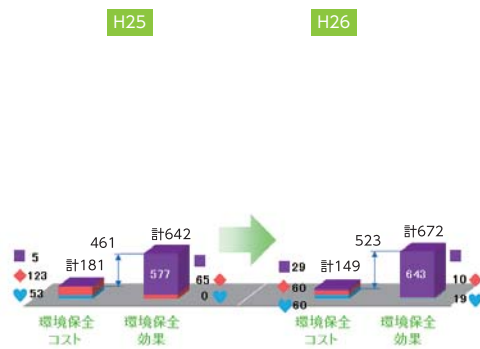
水道事業では、平成25年度に引き続き、給水区域再編の効果による電力削減等により、環境保全コストが1.5億円、環境保全効果が6.7億円となりました。その結果、コスト対効果の収支は5.2億円の黒字となっています。

公共下水道事業では、下水処理過程における電力の削減や公害防止等により、環境保全コストは21.9億円、環境保全効果は29.4億円となりました。その結果、コスト対効果の収支は7.5億円の黒字となっています。

## 水道事業

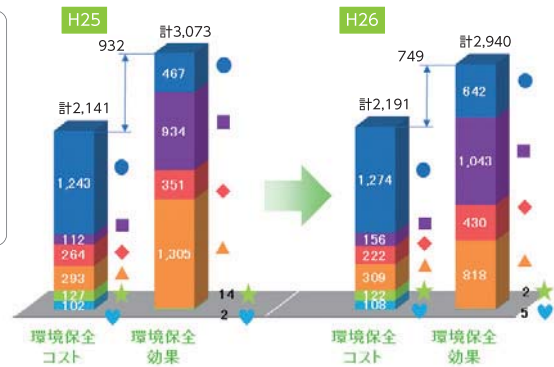
## 環境会計(百万円)

## 公共下水道事業



- 高度処理
- 電力削減など  
環境負荷の抑制
- ◆ 資源の有効利用
- ▲ 処理過程における  
公害防止
- ★ 事業場排水の規制
- ♥ その他環境保全の  
取組

(グラフと上記取組項目の記号が対応しています。)



平成26年度は、松ヶ崎浄水場大規模太陽光発電の稼働などにより、環境保全効果が増加しました。

平成25年度と比べて、電力削減や資源の有効利用の促進による環境保全効果が増加しました。

### ※環境会計とは?

環境会計は、環境保全の取組を効率的・効果的に進めるため、取組にかかったコストと得られた効果を、可能な限り金額で表し説明する仕組みです。

### ※環境保全コストとは?

環境保全の取組にかかる費用です。維持管理費と設置した施設の建設費(減価償却費)の合計です。

### ※環境保全効果とは?

環境保全の取組による経済効果です。取組を実施する場合としない想定した場合の、環境汚染物質による被害量の差を金額換算したものです。

## 市民の皆さまのご意見・ご提案をお聞かせください。

このたびは「京都市水道事業・公共下水道事業経営評価(概要版)」をご覧いただきありがとうございました。

私たち上下水道局では、皆さまからの貴重なご意見・ご感想をもとに、今後ともより分かりやすい経営評価への改善より良い事業運営につなげていきたいと考えています。

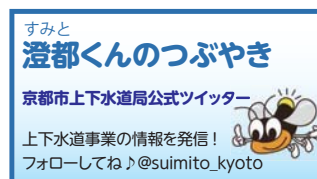
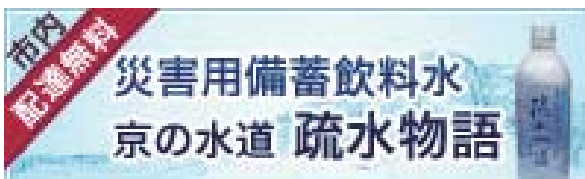
経営評価をはじめとする水道事業・公共下水道事業に関するご意見・ご提案は、[上下水道局ホームページのご意見メール](#)までお寄せください。

●より詳しい経営評価結果は、[上下水道局ホームページ](#)又は市情報公開コーナー等で本冊をご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/>

水道事業・公共下水道事業経営評価

検索



発行 京都市上下水道局 総務部 経営企画課

〒601-8004 京都市南区東九条東山王町12番地 TEL 075-672-7709 FAX 075-682-2711